

# N 2 3 16日から18日にかけて 何があったの？ 泊まり込んで

2010. 4. 20

JR東海労東二運分会

## 所員のみなさん

16日の深夜、指導科と運転科が異常に騒々しかったことに気づきましたか。そこらにある物全てをひっくり返して何かを探し、翌朝は、セキュリティボックスの異変です。そして、指導科に呼び出された乗務員は理由も告げられずにディンプルキーの確認をされたそうです。この騒動は、一体何かと思えば、ディンプルキーの紛失が原因のようでした。

しかし、ディンプルキーの紛失で指導科や運転科「内」を捜索するということは、乗務員がキーを無くしたということではなさそうです。なのになぜ、セキュリティボックス内を物色したり乗務員のキーを確認しなければならなかったのでしょうか。どう考えても指導科か運転科「内」でディンプルキーが無くなり、乗務員が盗んだか、何らかの理由で手に入れて隠し持っている、と疑われたのでは？ 皆さんはどう推測しますか。

これまでのセキュリティに対する会社の姿勢から、仮にディンプルキーの紛失なら最初にするべき対応は何でしょうか。直ちに、①「紛失」の掲示を出し、発見の協力を要請することから始め、同時に、② 運転台に乗務する乗務員は運転台に入る前に鎖錠の有無を確認し乗務中は運転台から出ないように、と指示し徹底するのが順当でしょう。

そして次は、③ 全車両の錠の取り替え準備をすることになります。これまでの経験からいっても、実際、錠を取り替えたことがあるからです。キーに黄色いシール痕があるのはそのときの名残です。

さらに、④ キーの紛失があり確認のためにセキュリティボックスを開けました。中の物が無くなっていたり異常がある時は指導科か運転科に申し出てくださいます、とも掲示するでしょう。しかし今回はこれらの一つも行われてないところに、この騒動の異常さを見ることが出来ます。

したがって、セキュリティ意識が最も低いのは所長以下の管理者だということがはっきりしました。

騒動は、科長や助役が泊まり込んで18日まで続いていましたが、夜には所長以下の管理者10人ほどが指導科で大きな声で笑い、和やかな雰囲気になっていました。察するに、ディンプルキーを2つ持っていた乗務員がコトの重大さに驚いてこっそり、ソ〜ッと分りやすい所に置いてあったのでしょうか。それなら笑い話しで終わりますが、間違っても、指導科や運転科の勘違いなどということはないでしょうね？

コトの顛末は未だ開示されていませんが、間もなく掲示が出るでしょう

【注 ただし、配電盤の鎖錠忘れと同じような扱いでは出されているようですが】

「蒼白の 顔に安堵の 笑みもどり」 C D 頑爺